

松本高等学校関係年表

大正 八

四月十四日 勅令により松本・新潟・山口・松山の四高等学校設立

(一九一九)

七月 入試 九月十一日 入学式 文科甲乙・理科甲乙計四組一学年定員百六名

大正九

九月三日 思誠寮開寮 第一回生入寮

(一九二〇)

十一月一日 開寮記念祭

大正十

十一月一日 全寮討論により自治制を要望

大正十一

二月二十一日 第一回対寮駅伝 以後昭和十六年まで毎年四月同コースで実施

(一九二二)

四月 思誠寮自治制となる

昭和 五

八月 第一次松高思想事件 治安維持法により多数の松高生が検挙

(一九三〇)

九月三日より二日間 野外軍事教練 有明廠舎で暴れ、退学二・停学一を出す

昭和十一

十二月一日 『誠寮時報』発刊。寮誌『思誠』『思誠寮報』の二本立となる

(一九三六)

昭和十二

七月七日 蘆溝橋事件発生 日中戦争始まる 思誠寮記念祭飾付け中止

(一九三七)

十二月 内閣に教育審議会設置 皇国民錬成のための教育政策を提案

昭和十三

四月 国民総動員法公布

(一九三八)

八月二十六日 勤労奉仕開始

昭和十四

六月十三日より二日間 近郊農家へ勤労奉仕

(一九三九)

七月 国民徴用令 興亜勤労学生奉仕隊に松高生参加 渡満

昭和十五

十二月 校友会解散、報告団結成。思誠寮自治制廃止、生徒課の統制下に入る。

(一九四〇)

開寮十五年記念寮史編纂事業起る。

昭和十六

十二月八日 米英蘭に宣戦 太平洋戦争開始

(一九四一)

昭和十八

六月 学徒戦時動員体制確立要綱発表

(一九四三)

九月二十三日 大学高専文科系学生徴集猶予撤廃 寮歌「若き力に」になる

十一月七日 松高講堂で出陣学徒壮行会

十二月一日 第一回学徒兵入隊 二十三日 徴兵年齢一年繰り下げ発表

昭和十九

三月七日 決戦非常措置要綱により中学校以上通年動員決定

(一九四四)

五月 戦時教育令公布 伊那動員先で寮歌「光を呼ばん」・「遠征」が選ばれる

八月 学徒動員令 女子挺身隊勤労令公布 学童疎開実施

十一月一日 思誠寮記念祭を在寮一年生のみで盛大に行う

昭和二十

三月 決勝教育措置要綱決定 昭和十八年入学の二十五回生が二年で卒業

(一九四五)

寮はドツペリ組と逐次入寮の浪人新人生のみに

八月十五日 無条件降伏

九月二十日 思誠寮再開 二十一日 授業再開

十月 治安維持法廃止 西寮開設発表 十一月三十日 東西両寮分立コンパあり

十一月十日 東西思誠寮記念祭

昭和二十一

三月四日 西寮開寮式 (西寮は翌年三月に閉鎖)

(一九四六)

九月一日 東寮 三日西寮で歓迎コンパあり 寮炊事部はエッセン集めに奔走

昭和二十二

二月一日 ゼネスト中止 十二日 校友会に自治会設立の議あり

(一九四七)

三月五日 『思誠寮報』復刊 三十一日 教育基本法、高等教育法公布により六三三

三四制確立

四月一日 第二十九回生入学 (ただし従来の高等学校令による)

五月十七日 対類駅伝復活

昭和二十三

四月 第三十回生入学

(一九四八)

六月二十四日 全校スト

十月十日 松本高等学校創立三十周年記念式典

昭和二十四 二月二十日 思誠寮閉寮（信州大学に引き継がれる）

（一九四九）

三月 新学校制度により第三十回生全員退校 新制大学の入学準備

六月二十日 信州大学発足 松高は文理学部と同居する

昭和二十五

三月 第二十九回生卒業 松本高等学校閉鎖

（一九五〇）

（『われらの青春ここにありき』より）